

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2023年度達成度評価表 分野：研究

		評価	理由
中期目標	多様で優れた学術研究を奨励し、その成果を広く社会に還元するとともに、地域と連携した特色ある研究の拠点形成を推進します。		
中期計画	1 研究環境・研究支援体制の整備充実	B	<p>機関決定を経て、文部科学省「令和5年度私立大学等研究設備整備等補助金」への計画調書が申請提出され、同補助金の採択により総合リハビリテーション学部にも光トポグラフィ装置を設置できたことは評価できる。また、不正防止計画推進委員会を中心に、定期的な公的研究費News Letterの継続発行や研修会等の開催を通して、本学における公的研究費の適正使用に関する意識向上を図ることができている。今後も引き続き、研究拠点や学部間・研究科間の研究連携体制の構築に向けて情報収集に努め、本学の研究環境のさらなる充実が図られることを期待する。</p>
中期計画	2 多様な外部資金の獲得	B	<p>研究支援センター及び産学連携推進室を中心に、外部資金獲得のための支援体制整備が進んでいる。特に、令和5年度INPIT「知財戦略デザイナー派遣事業」に応募し、スポット型で採択されたことや本事業を通じて本学の知財発掘の方針検討に着手できていることは評価できる。また、バイアウト制度の導入を機関決定し、研究者の支援に資する取り組みが進められている。受託研究・共同研究の実施や教育研究奨学寄附金の受け入れに基づく外部資金の獲得も継続的に実現できている。科学研究費等競争的研究費については、大学全体では採択率・申請件数ともに目標を下回っており課題であるが、目標を上回っている学部もあり、各学部・機構において積極的な申請を促すための啓発活動や奨励活動に取り組むことができている点は評価できる。引き続き現状を分析するとともに情報収集に努め、さらなる外部資金獲得に向けた環境の整備や申請支援方策の策定が望まれる。</p>

<p>中期計画</p>	<p>3 学内・学外との研究連携推進</p>	<p>B</p>	<p>各学部・研究科において、地域と連携した研究活動に積極的に取り組むことができている。中でも人文学部では、神戸・明石及びその周辺地域住民と交流を図りながら地域研究を推進するため、一般参加可能な講演会等を開催し、活発な取り組みができていくほか、研究成果の地域への公表などの活発な取り組みや工夫もあり、他学部にも推奨できる取り組みであり、長所と認められる。研究支援センターでは、産学連携関連展示会等への継続的な参加による本学研究シーズのPRや産学連携知的財産アドバイザーからの専門知識の提供による知的財産の適切な管理・活用のための取り組みが進められている。また、これまでの自己点検・評価結果に基づき、2024年度よりリサーチ・アドミニストレーター（R.A.）を新たに配置できることが決定した点も評価できる。今後は、R.A.の参画により、産官学連携先の新規開拓や新たな提案が進み、本学の研究力向上につながることを期待する。</p>
-------------	------------------------	----------	---

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る